

さんようおのだ

銀麗

《第59号》

■ 編集発行 ■
 (公社) 山陽小野田市
 シルバー人材センター
 会報編集委員会

山陽小野田市中川2丁目4-16
 TEL (0836) 84-0448
 FAX (0836) 84-0667



シルバーふれあいマーケット（6月2日、市民館）



目次

定時総会の開催	2	理事長就退任・事務局異動	6
理事長あいさつ	3	市長・議長への支援要請	7
交通事故と高齢者	4	文芸・会員募集ほか	8
会員のひろば	5		

平成29年度 定時総会を開催



6月2日午後1時30分から市民館文化ホールにおいて、平成29年度定時総会が開催され、藤田市長をはじめ、尾山市議会議長、中村県民局長、桑原山口県シルバー人材センター連合会事業委員会委員長を来

賓として迎へ、会員501名のうち委任状を含めた405名が出席しました。

中里理事長の開会あいさつの後、来賓の方々からご祝辞を賜りました。また、本年がセンター創立30周年に当たることから、対象となる会員への記念表彰を行いました。

議長に藤岡修美会員が選任され、藤本常務理事から「報告第1号平成28年度収支予算書一部補正報告の件」、「報告第2号平成29年度事業計画報告の件」、「報告第3号平成29年度収支予算等報告の件」について報告、続いて議事において、「議案第1号平成28年度事業報告承認の件」、「議案第2号平成28年度収支決算承認の件」、「議案第3号定款変更の件」、「議案第4号補欠役員選任承認の件」、「議案第5号理事長に対する権限委任承認の件」について提案の後、それぞれ賛成多数で可決承認されました。

総会終了後、誰もが参加できる行



事として、会員以外の市民も交え、山陽小野田市病院事業管理者河合伸也先生による「元気に老いる（健康寿命の延伸）」という演題の講演会を開催しました。



残暑お見舞い
申し上げます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 職 | 職 | 職 | 職 | 職 | 職 | 職 | 業務係長 | 事務局長 | 監事 | 監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事長 |
| 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 員 | 丸田敦雄 | 藤村安彦 | 重松実 | 津田芳男 | 山本洋吾 | 松岡正雄 | 伯野憲治 | 田原澄江 | 谷川百枝 | 篠原孝允 | 斉藤勝久 | 甲斐隆之 | 藤本賢揮 |

総会理事長挨拶



開会にあたり
ご挨拶申し上げます。

はじめに、当
センターは昭和
62年10月に発

足し、本年、創立30周年という記念すべき年を迎えることができました。これもひとえに幾多の先輩会員や現役会員の不断の努力と、市をはじめ関係機関のご支援とご指導、さらには地域社会の皆様のご理解の賜物と深く感謝申し上げます。

現在「30周年記念誌」の発行に向け準備を進めておりますが、「永年会員の表彰」につきましては、総会議事の前に行いますので、ご協力をお願いいたします。

本日の総会には公私ともたいへんご多忙にもかかわらず、ご臨席を賜りました山陽小野田市長 藤田剛二様、山陽小野田市議会議長 尾山信義様、山口県宇部県民局長 中村孝史様、公益社団法人山口県シルバー人材センター連合会事業委員会委員長 桑原正文様には厚くお

礼申し上げます。また、ご来賓の皆様には、平素から格別なるご指導、ご支援を賜っておりますこと、この場を借り重ねてお礼申し上げます。

さて、当センターも平成24年4月の公益社団法人への移行後5年が経過いたしました。国及び地方公共団体をはじめ、地域社会のご理解のもと、ご支援・ご協力をいただきながら公益団体として運営の厳格化に努め、法令遵守・安全適正就業の徹底・就業開拓員による就業機会の提供・拡大など「中期基本計画」に基づき、効率的で安定的な事業運営に努めてまいりましたが、まだまだ景気の回復を実感できない1年でした。

当センターの昨年度の実績をみますと、会員数は501人で1年前と同数ですが、請負契約件数、契約額ともに減少したものの、シルバー派遣事業の契約件数、契約額が大幅な増加となり、全体的には契約件数の160件の減少はあるものの、契約金額では約100万円の増加となりました。国が発表した「ニッポン一億総活躍プラン」において、近年の高齢者人口の増加、労働力人口の減少が進む中、保育サービス分

野、介護周辺業務などに関して高齢者の人材活用を促進することが掲げられております。地域の活力を維持していくためにも、地域における豊かな経験と知恵のある高齢者の受け皿となるシルバー人材センターは、大きな役割を期待されています。

こうした中、国の平成29年度重点施策は「デフレからの脱却速度を最大限とし、日本経済を成長軌道に乗せていく。」とされています。この中の働き方改革においても「女性や高齢者などの多様な主体の活躍促進」を掲げております。

市が事業主体として実施する「介護予防・日常生活支援総合事業」に家事援助サービス事業として、積極的に参加し、高齢化社会を支える中核的な組織として、まさにシルバー事業の理念である「自主・自立、共働・共助」の趣旨に合致するものであり、高齢者が自主的に連帯して共に働き、共に助け合い、労働能力を発揮し、就業を促進することで活動的な生活能力を生み出し、社会参加することが生きがいにつながると信じます。

今後の高齢社会において豊かな

知識や経験を活かし、社会の担い手としての活躍が求められている今、地域社会への参加を促進するシルバー人材センターの果たす役割はますます重要になってきていることを重ねて発信して参りたいと思っております。

創立30周年を契機に、公益社団法人として今まで以上に地域の皆様に寄り添い、ご理解・ご協力をいただき、高齢者の社会参加の促進を図り、シルバー事業の未来に向け、力強い新たな一歩にしたいと存じます。

本日の総会は、平成29年度の事業計画と予算の報告の後、平成28年度の事業報告、収支決算の審議など5議案を上程しております。ご審議の上、ご承認いただきますようお願い申し上げます。

終わりに、会員皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、開会にあたってのご挨拶といたします。

平成29年6月2日

公益社団法人

山陽小野田市シルバー人材センター

なか ざと ゆう すけ

理事長 中 里 裕 典

交通事故でなくなった方の約半数は高齢者です

山陽小野田市生活安全課 吉村 匡史

毎日暑いですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。テレビや新聞で交通死亡事故に関するニュースが報道されています。救急車のサイレンを聞くと、知り合いの誰かが事故に合ったのではないかと考えてしまい「ドキッ」としてしまいます。

交通事故は、起こらないことが一番良いのですが、交通事故をなくすことはなかなか難しいことです。交通事故にあわないようにするには、一人一人が注意し、交通ルールを守ることが大切だと思います。今回は、歩行者の交通事故防止について考えていただき、交通事故にあわないための参考にしていただければと思います。



実は、交通事故の死者は年々減少しています。しかし、交通事故死亡者全体に占める高齢者（65歳以上）の割合は増加しており、交通事故死亡者の半数以上をしめています。また、**歩行中死者の7割、自転車乗用中の死者の6割**が高齢者なのです。

高齢者が交通事故にあいやすくなる大きな原因としては、年をとることで①視力や②聴力、③判断能力の低下など、加齢にともなう身体能力が低下してきているのに、そのことを意識していないことが挙げられています。



例えば、交差点などでは、瞬時にさまざまな身体能力が求められますが、高齢者の場合、慣れによる油断や、誤った判断による事故が相次いでいます。自らの身体能力をしっかりと認識し、交通安全に努めてください。

最後に、歩行者の事故を防止するポイントを5つ挙げました。それぞれのポイントをもう一度確認し、交通事故が起こらないよう気をつけましょう。

歩行者の事故を防止するポイント

- 1 通りなれた道でも、気を抜かないよう、車に注意しましょう
- 2 夜間の外出時は、明るい色の服装（反射材着用）で出かけましょう
- 3 交差点では右折、左折車に注意しましょう
- 4 横断歩道や信号機のあるところを横断しましょう
- 5 赤信号はもちろん、青信号が点滅しているときも渡るのをやめて、次の青信号を待ちましょう



会員のひろば

☆ 感謝



高泊 伊藤 元行

以前、「水泡に帰す」ともいうべき職場環境の中、長期にわたり働いていましたが、その傍らで、ハローワークにも通っていました。ハローワークでは、シルバー人材センターを紹介され、すぐに入会しました。今思えば、これが第一の感謝です。実際に草刈、刈込等してみると、親切・スピーディに作業をしている充実感とともに、自然を感じながらよい汗を流すことができます。これも話しやすく頼りになる仲間と共に働くからでしょう。第二の感謝です。

つらいこともあります。例えば、真夏の作業などは、耐えがたいほどの暑さです。でも、身体が動く限り、この仲間たちと楽しく作業を続けていきたいと思っています。

☆ 今日も笑顔を届けるぞ！



共和台 田村 重人

「おじちゃん、おはよう。今日もご苦労さま。」「おはよう。元気がいいねえー。」これは、配達の際のあいさつの一コマです。

シルバー人材センターに入会して4年になりますが、配達の仕事に3年8か月携わっています。この仕事は、ルート配達ではなく、注文を受けた商品を注文者の所まで持って行き、所定の場所に置くものです。まず商品が傷ついていないことを確認し、先入れ先出しを考え、お客様が使いやすいように置くことに気配りしています。この仕事では、配達先の職場の皆さんと接することも多く、時には仕事以外の会話が弾むこともあり、いつも笑顔絶やさないように心がけています。

配達が終わる会社に戻ったときは、玄関周辺の花壇の管理を行い、季節の花々を育て環境美化に努めています。みんなが自然と笑顔になればいいですね。

☆ 自分で探した 初めのお仕事



埴生 野々村 綾子

私の人生、親戚のお兄さんから、ある会社の事務に行ってくれと言われて行き、また、何年か後は、会社を辞めて運転免許を取れと言われて、楽しかったけれど言われたとおり免許を取りました。その後、言われるままにまた次の仕事というふうに行っていました。

そんな私が、初めて自分自身で決めたお仕事、それがシルバー人材センターにご縁をいただき、環境衛生センターでのリサイクルの仕事です。私にとつては、リサイクルプラザでの仕事は、「楽しくって、楽しくって」一日の過ぎるのが早いこと、早いこと。

これからも色々と勉強して、皆様のお役にたてるように、お勤めしたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

☆ シルバー人材センターと「私」



浜 前田 是浩

私は、はや三年が過ぎました。私が、草刈班に入ったのも、年3回の自治会での草刈の経験があったからですが、私のような素人に仕事としての草刈ができるかなと最初は不安でした。しかし、草刈班の皆さんにとっても親切に教えていただき、たいへんありがたかったことを思い出します。

最近、草刈に多少の自信を感じています。皆さんとともに作業ができて、とても楽しく、毎日が充実しています。また、休憩や昼食のときには、色々な話題で盛り上がることもあります。

これからも安全に心がけ、無理・無駄のないメリハリを付けた仕上がりの美しい作業に努めたいと思います。身体の続く限り、頑張りたいたいと思います。

「ご安全に」を合言葉とともに頑張りましょう。

退任あいさつ



中里 裕典

この度、山陽小野田市シルバー人材センター理事長を退

任いたしました。

平成26年からの就任ではありましたが、常務理事兼事務局長に就任した平成21年から数えると8年間、センターの業務に携わったこととなります。

その間、公益社団法人への移行などさまざまなことがありましたが、会員、役職員の皆様のご指導、ご支援をいただき、職責を全うすることができました。心から厚くお礼申し上げます。

少子高齢化が進む中、意欲ある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現を図る上で、シルバー人材センターの役割はますます重要となっています。

会員、役職員の皆様が、この実現に向けて積極的に取り組まれるこ

とを期待しています。

最後に、山陽小野田市シルバー人材センターのますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念して退任のご挨拶いたします。

理事長就任あいさつ



藤本 賢揮

この度、中里前理事長の後任として山陽

小野田市シルバ

ー人材センター理事長に就任しました。

平成24年から職員、常務理事兼事務局長として、お世話になりましたが、引き続きよろしくお願いいたします。

現在、「生涯現役社会」の実現に向けて基盤拡大に努めているところですが、全国的にも当センターでも会員が減少傾向にあり、その確保に苦慮しています。会員の増加が就業機会の拡大につながり、センター事業がさらに拡大していくという

好循環をなかなか生み出せない大きな要因の一つだと考えます。

「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、事業拡大に向けて誠心誠意取り組みたいと思いますので、会員皆様のより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

最後に、会員の皆様の安全就業とご健康、ご活躍を祈念して就任のご挨拶いたします。

退職職員



竹内 敏夫

3月末をもって退職しました。3年間で

したが、在職中はいろいろとお世話になり、ありがとうございました。会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



中島 和廣

6月末をもって退職しました。平成21年

新入職員



藤村 安彦

4月から藤本前事務局長の後任として

勤務することになりました。会員・役職員の皆様とともにシルバー人材センターのより一層の活性化に取り組みたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



丸上 岳志

4月から業務係・指定管理担当として勤務することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

8月2日、市長及び市議会議長に



正・副議長に支援要請



市長に支援要請

市長及び市議会議長に支援要請

シルバー人材センターに対する支援要請を行いました。

【要望内容】

「ニッポン一億総活躍プラン」を
実践するシルバー人材センターの
決意と支援の要望

我が国においては、少子高齢化が進み、人口が減少している中で我が国の成長力を確保していくためには、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっております。

このような中で、シルバー人材センターは地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現に役割を果たしており、併せて、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進を实行し、地域社会の活性化と医療費や介護給付費の削減に寄与しているところ です。

昨年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」において、「保育等の就業機会の提供に、積極的に取り組むシルバー人材センター」に重点的に財政支援を行い、保育分野での高齢者の就業の推進」及び

「介護周辺業務や軽易な介護業務に関して、シルバー人材センターを通じて高齢者人材の活用」が掲げられており、シルバー人材センター事業の重要性和シルバー人材センターに向けられる地域社会の期待は一層大きなものとなっている。

このため、シルバー人材センターは「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、国及び地方自治体の施策、地域ニーズに対応し、

- ① 介護保険制度改正に伴う介護予防・日常生活支援総合事業などの要支援高齢者に対する事業
- ② 子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業
- ③ 人手不足の地元企業に向けた
- ④ シルバー派遣等の事業

空き家管理、遊休地を活用した農園事業などの事業を重点に取り組んで参ります。さらには、昨年4月に改正施行された「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」第39条により、要件緩和された労働者派遣又は職業紹介での働き方において、都道府県知事が指定する業種・職種について週40時間まで就業が可能となったことを有効的に活用するとともに、適

正就業ガイドラインを遵守し、地域社会の維持・発展と急増する高齢者の受け皿としての役割を果たして参ります。

つきましては、平成30年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保を要望いたします。

特に、国においては一般会計を財源とする補助金の確保、また、都道府県・市区町村においては国の補助金と同額以上の補助金の確保、さらには、センターに対する市区町村等の公共からの事業発注の確保について、強く要望いたします。

また、シルバー人材センターの多くは、事業規模が小さく財政的には不安定であり、経済変動などによりたちまち財政難に陥る危機を孕んでいます。公益法人が安心して運営できるよう、「特定費用準備資金」について、剰余金を赤字年度及び災害等、将来の収支変動に備えた資金として積み立てることを可能とする見直しを、強く要望いたします。

平成29年8月2日

公益社団法人
全国シルバー人材センター事業協会
公益社団法人
山陽小野田市シルバー人材センター



住吉本町 菊永 咲子
 俳句・川柳

ほとほとどの 距離で確め 合う絆
 忘れよう 忘れなさいと 季が移る
 生まれるも 死ぬも所詮は ひとり旅
 覆水は 盆に還らず 残る悔い
 不動寺原 中村 節子
 菜種梅雨 迷いに迷う 旅の服
 五月雨に コース変更 北斎館
 骨折の 型に身を置く 熱帯夜
 向日葵の 力にゴッホ 再度燃ゆ



植生 植生 一お

梅一輪 曲折ありて 喜寿となり
 花吹雪 川面に敷いて 鯉戯む
 長雨や 人待ち顔の 読書かな

鴨庄 益山 英之
 うっかりと 値札のまんま 出す土産
 長電話 コントロの上は 火の車
 退院を 待っていました 万歩計

お知らせ

介護アシスタント養成研修

介護施設等で働くために必要な
 基本的な知識と技術を学べる研修

●受講対象者

介護に関心のある中高年齢の方
 ●日時、場所

- ① 10月12日・20日・26日
 宇部市総合福祉会館（申込締切10月5日）
- ② 10月30日・31日・11月2日
 山口県セミナーパーク（申込締切10月23日）

●問合せ・申込先

一般社団法人
 山口県介護福祉士会

☎083・987・0122

会員募集

お友達やお知り合いにこんな方はいらつしやいませんか？

- まだまだ現役で頑張りたい。働けるうちは働きたい。
 - 時間も体力もある。自分らしく生き生きと、活動したい。
 - 就労？ ボランティア？ 生涯学習活動？ 何か始めたいが具体的に決まらない。
 - やりたいことはあるが、一歩踏み出せない。
- もし、いらつしやればシルバー人材センターをご紹介ください。
- 山陽小野田市に在住で、60歳以上の健康な、働く意欲のある方ならどなたでも入会できます。
- 女性の会員さんが少ないので、これから家事援助等の請負をする上でも、特に、女性の入会をお待ちしています。

入会説明会

- 毎月第3金曜日午前9時30分からシルバー人材センター事務所
- 偶数月の第3水曜日午前9時30分から厚狭地区複合施設

編集後記

6月の定時総会を無事に終え、新しい理事長のもと役員一丸となつて新年度事業を本格的にスタートしました。これまで以上に公益社団法人として、健全性と法令遵守を基本とした事業運営を行わなければなりません。

ところで近年、日本列島の各地で天候不順による災害が発生しています。また、温暖化のせいなのか猛暑日が続いているので、熱中症などによる事故が発生しないよう、会員の皆様も健康管理に十分注意し、発注者に喜ばれる成果を上げるよう頑張りました。

会報編集委員会も、創立30周年記念誌「銀麗」が会員の皆様に親しまれるものとなるよう紙面づくりに頑張っています。ご協力をよろしくお願ひします。

会報編集委員

委員長	篠原 孝允
副委員長	斉藤 勝久
委員	木谷 健三
委員	福田 悦子